

令和7年度予算 全会一致で可決

委員はここに注目した！



下澤 卓夫 委員

まちづくり計画

立地適正化計画、住宅マスタープラン、空き家対策、多摩都市モノレール沿線町づくりなどを、どう整合性をもって進めるか注視。



森 亘 委員

児童・生徒の学びの確保

不登校の要因の分析をするともに児童・生徒一人ひとりの学びの確保に向けた対策を注視したい。

障がい児支援

放課後等デイサービスの利用者が増えている。町内に新たな事業所開設の動きがあるが、適切なサービスが受けられるか注視したい。



川島 靖弘 委員



山崎 栄 議長

1年間の町事業を左右する予算。本委員会での質疑を踏まえた各委員の注目事業を紹介します。

不登校対策

不登校児童・生徒が増加する中、各支援員の対応と教育支援室「いびき」への学習支援に期待。



大坪 国広 委員

空家等対策の計画策定

令和5年度の実態調査を踏まえた計画策定により、町の長年の課題であった空家対策が前進することを期待する。



小川 龍美 委員

多世代交流センター

高齢者、児童・生徒、若者が、それぞれの活動のみならず、互いに交流できる町内初の多世代交流施設「MIZCUL」の運営に期待。



下野 義子 委員

駅西公有地の活用方法

今後の駅西公有地および「OHAKOYA」の運営形態、将来的な公有地の活用方法の検討を注視していく。



高橋 洋子 委員

コンビニにAED設置

コンビニエンスストアにAEDを設置することは評価。使用訓練の拡充も大切。



井上 一也 委員

モノレール延伸

多摩都市モノレール延伸を見据えた、新たなまちづくりには住民の声が重要であり、必要不可欠であることに注目。



榎本 義輝 委員

体育館にエアコン設置

小・中学校の体育館における空調設備設置工事に対し、補助金や交付金を獲得できたことは評価できる。



大和 雅彦 委員

学童保育クラブ

土曜日および長期休業期間中の朝延長保育の実施を高く評価。新たな学童委託業者を含め、三事業者の運営に注視。



香取 幸子 委員

都市基盤整備

過去最大の予算には議会提案も反映されており高評価。町の将来を描く各種都市基盤整備事業は頼もしい内容。



奥泉 淳広 委員

おむつ持ち帰りなし

保育園などの使用済み紙おむつの持ち帰りをなくするため、保管用ごみ箱購入への補助を計上し、また、規則を改定し回収をサポートしたことは高評価。



原 隆夫 委員

防犯カメラの機能強化

合計54台の防犯カメラに通信回線機能を付加、防犯体制および災害時の情報収集体制の強化に期待。



古宮 郁夫 委員

期待に応える予算か！
全委員で討議
予算特別委員会
議員間討議での主な意見

第5次長期総合計画の基本目標6
便利で快適に暮らせるまち

区画整理

殿ヶ谷地区の早期完了を望む。

栗原地区は準備会助成金を毎年支出しているが、どのように使われているか「見える化」されていない。圧縮と効率化を検討する余地があるのでは。

*他に、駅西地区の公有地の有効活用について討議しました。

道路

計画では狭あい(道幅の狭い)道路の解消に努められているが対策が不十分では。

道路整備方針は令和5年に策定されたが、具体的な整備計画を作るべきでは。

町道3号線(役場通り)の無電柱化工事は順調に進展しているが評価できる。

公共交通

コミュニティバスについては、元狭山地区では利用率が高いが、他のルートも含め、全体的に利用者のニーズを反映できるようにしてほしい。

デマンド交通(チョイスコミすほまち)については、利用者が少なく、PR不足ではないだろうか。高齢者福祉課などとの連携でもう少しPRできるのでは。スタート時から利用条件が厳しすぎたのでは。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む